

# 教育研究業績書

所属	職名	氏名	学位
こども教育学部	講師	砥上 あゆみ	修士(教育学)

## I 教育活動

教育実践上の主な業績	年月日	概要
(1)教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む) ①乳児保育	平成27年4月～	保育の場面を想定し対照的な選択肢をあげ、子どもへの対応を考えていくディスカッションを用いた授業を行った。その過程で自身の保育観を言語化したり、他者の考えを聞いたりすることによって、保育観を深めていくことを目的とした授業である。また、保育を捉える視点には違いがあることに気づかせ、その違いを認め、他者から学ぼうとする意識が芽生えるような授業を行った。このような学習を継続することによって、保育のなかで必要となる保育者間の連携・協働の素地を培うことができる。
②保育・教育基礎研究 I・II	平成29年9月～ 平成31年9月	子育てサークルの「ふたごの会」の親子(0歳～未就園児の双子)とのふれあい活動を実践した。保育の環境を整えることによって、子どもの姿が主体的に変化していく様子がみられ、保育における環境構成の重要性を体得することができた。また、子どもと保護者との継続的な関わりによって、子どもの成長を共有し喜び合ったり、保護者が安心して子どもを学生に預けたり(同室)という関係構築へとつながっていった。このような体験は保育者としての資質を醸成することにもつながっていくと思われ
③保育・教育基礎研究 I	平成31年4月～ 令和2年9月	保育の知識および技術とともに、保育者の資質につながる人間性や倫理観を育み、質の高い保育者を養成することを目的に授業を行った。養成段階における質の高い保育者養成の体験学習プロセスの体系化を試みている。特に、自己表現に着目した内容の体験学習を実践していく中で、学生の変容(他者理解・コミュニケーション力)が成果としてみられている。
④乳児保育 II	令和4年4月～	チャイルドビジョンをもち、子どもの視点を意識して学外・学内を探索する活動をしている。子どもが外界をどのように捉え、どのように感じているのかを体験をとおして考え、保育者としてのかかわり方を再考していくことを目的に授業を行っている。また、子どもの視野の狭さに気づかせ、子どもの事故防止および安全対策の重要性を知り、安全な保育環境の構成や配慮を考える機会にもなっている。さらに、その気づきを写真に残し、後日、ドキュメンテーションを作成し、保育を可視化する授業も行っている。
(2)作成した教科書・教材・参考書 ①『現代の保育と家庭支援論』共著 学文社 ②『0.1.2歳児 絵本とともにのんびり子育て』共著 自費出版 ③『保育と子ども家庭支援論』共著 勁草書房 ④『実践につながる新しい乳児保育—ともに育ち合う保育の原点がここに』共著 ミネルヴァ書房	平成27年4月 平成30年4月 令和2年1月 令和5年1月	第7章を執筆 0.1.2歳児の絵本の読み聞かせについて、保護者向けにまとめたリーフレット 第3章を執筆 第5章、第14章を執筆
(3)教育方法・教育実践に関する発表、講演等		

(4)その他教育活動上特記すべき事項		
①福岡市私立保育士会博多区グループ研修講師	平成26年4月～ 平成28年3月	月に1回の研究会を実施、2年間の研究成果をまとめた論文の執筆や助言、研究大会の発表にも携わった。
②福岡市南区出前講座(大学版)講師	平成26年4月～ 令和2年3月	テーマ:「子育てに絵本を」 対象:0.1.2歳児の子どもと保護者
③福岡市南区大学公開講座講師	平成28年3月	テーマ:「子育てに絵本を」 対象:0.1.3歳児の子どもと保護者 南区保健センターで実施。
④保育士資格取得特例制度講師	平成26年4月～ 令和2年3月	保育士資格取得特例制度講師 「乳児保育」の通信、スクーリング講師 オムニバス形式(乳児の生活と遊び、環境、事例研究)
⑤保育技術検定講師(高大連携授業)	平成23年4月～ 平成28年4月	保育技術検定(言語表現技術、家庭看護技術)1級～4級の授業担当ならびに検定の試験官を担当
⑤職業観育成講座(高大連携授業)	平成25年4月～ 令和5年12月	職業観育成講座:幼児教育

## II 研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、発表雑誌(及び巻、号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当頁数
(著書)					
『現代の保育と家庭支援論』共著 学文社	共著	平成27年4月	学文社	著者:井村圭壯、今井慶宗、犬獄さと子、栗岡洋美、木庭みち子、野崎真琴、角田雅昭、曾根章友、砥上あゆみ、澤田裕之、太田顕子、橋本洋介、木村海太、小宅理沙 全135頁	pp57-65
『0.1.2歳児 絵本とともにのんびり子育て』	共著	平成30年4月	自費出版	共著:砥上あゆみ、菅原亜紀	
『保育と子ども家庭支援論』	共著	令和2年1月	勁草書房	著者:井村圭壯、今井慶宗、杉野寿子、曾根章友、砥上あゆみ、片岡章彦、神ひとみ、、前嶋元、栗岡洋美、木村匡人、隣谷正範、佐藤純子、野崎真琴、井梅由美子、神田綱、橋本好広	pp.17-24
『実践につながる新しい乳児保育—ともに育ち合う保育の原点がここに』	共著	令和5年1月	ミネルヴァ書房	著者:大浦賢治(編者)、松山寛、山本陽子、後藤由美、伊藤明子、砥上あゆみ(第5章、第14章)、鬼頭弥生、寶川雅子、清水かおり、齋藤良枝、竹内直美、三田村千穂、鳥田弘子、宮川友理子	pp.33-40 pp.108-116
(論文)					
『保育の専門性をいかした子育て支援-保育者の子ども、保護者への日常的な関わりに着目して-』	単著	平成28年3月	九州大学大学院【修士論文】		pp.139-172
『言語表現の基礎を培う0-2歳児の読み聞かせ:講座における親子への支援をととして』	共著	平成28年3月	純真紀要第57号,pp.77-88	砥上あゆみ、菅原亜紀	pp.77-78 pp.82-86

「0-2歳児における絵本の読み聞かせ方法の特質-コミュニケーションに着目して-」	共著	平成30年3月	純真紀要第58号,pp.69-79	砥上あゆみ、菅原亜紀	pp.6970 p.74 pp77-78
「保育の専門性をいかした子育て支援-日常の保育実践に着目して」	単著	平成31年3月	純真紀要第59号,pp13-26		
「保育者の資質を育む体験学習の体系化の試み(1)」	共著	令和2年3月	純真紀要第60号,pp.15-27	砥上あゆみ、菅原亜紀、豊辻晴香	pp.15-17 pp.25-26
「保育者養成における乳児保育の現状と課題—保育実習後のアンケート調査をもとに—」	共著	令和3年12月	大濠教育研究所研究紀要2021年度(令和3年)版 pp21-31	砥上あゆみ、菅原亜紀	pp.21-26 pp.29-31
「自尊感情を育む保育の実践—日常の保育者の言葉かけに着目して—」	単著	令和5年3月	大濠教育研究所研究紀要2022年度(令和4年)版 pp37-42	砥上あゆみ	
(その他)					

### Ⅲ 学会等及び社会における主な活動

平成28年4月～	日本保育者養成教育学会
平成29年4月～	日本保育学会
平成31年10月～	社会福祉法人信愛育成会 夢の木保育園 評議員